

令和元年度 施策評価表

施策	1401 商店街の振興	施策担当部等	産業振興部	部長	高取 和也
		施策担当課等	商工振興課	課長	浦山 優
施策の方針	商工会議所等の関係団体と連携し、賑わいのある商店街づくりを進める。また、中心市街地複合ビルや県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備などを踏まえ、中心商店街の活性化に取り組む。				

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 中心商店街の空き店舗率	%	11	10	10	9	9	8	79.6%	70.8%
② 中央商店街の1日当りの通行者数（6地点の延べ人数）	人	10,355	8,100	8,830	9,550	10,270	11,000	72.4%	62.9%
			8,071	5,638	6,915	6,264			
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明
令和元年度の空き店舗率は、前年度と比較し空き店舗数は変わらなかった。店舗数の減少により0.5ポイント増となったが、目標値達成には至らなかった。
中央商店街の通行量は、調査日が悪天候であったため前年度と比較し651人減少し、目標値を下回る結果となった。

施策経費

(単位:千円)		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
内訳	事業費	51,428	52,763	53,948	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	7,185	6,817	6,119	
	一般財源	44,243	45,946	47,829	
	人件費	6,416	7,264	-	
フルコスト	57,844	60,027	-		

施策の概要

140101	にぎわいのある商店街づくり	各地域の商店街の活性化を図るため、街路灯などの商店街共同施設の整備を支援するとともに、商工会議所等の関係団体と連携しながら、各商店街の魅力向上のための取組を推進します。
140102	中心商店街の活性化	JR大村駅周辺の中心商店街の活性化を図るため、中心市街地複合ビルや県立・大村市立一体型図書館（仮称）の整備などを踏まえ、空き店舗対策やにぎわい創出等に取り組めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成 する上での 問題点・課 題	中央商店街の空き店舗率は、昨年度と比較し1.4ポイント改善したが、いまだ空き店舗が目立っているため、中心商店街テナントミックス事業の推進など、引き続き新規出店者に対する支援を行っていく必要がある。 また、中央商店街の通行量は目標値を下回っており、今年度にオープンするミライonの来館者を呼び込む取組を商店街と連携して進めていく必要がある。
------------------------------	--

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

--	--

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方	令和元年10月に開館した県立・市立一体型図書館「ミライon」の来館者を商店街へ呼び込むため、中心商店街と連携して取組を進めていく。そのため、現在行っているテナントミックス事業による家賃補助だけでなく、商店街が実施する商店街活性化・観光消費創出事業に係るイベントの広報周知などについて支援する。 また、市民交流プラザでは指定管理者制度を導入しているが、更なるサービスの向上やイベントの充実により、交流人口の拡大を図る。
--	---

令和2年度新規事業

	事業名 (仮称)	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
			事業費 (千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	